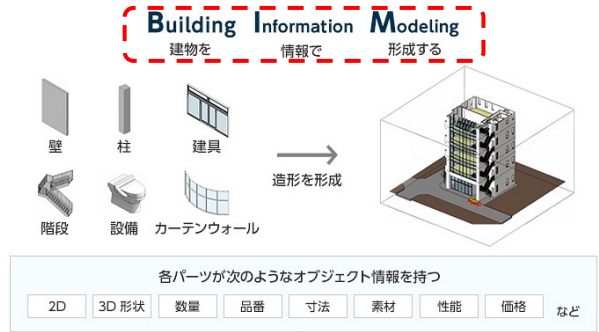


建築設計におけるBIM・VRゴーグルの活用

愛知産業大学 建築学部 建築学科（設置構想中）

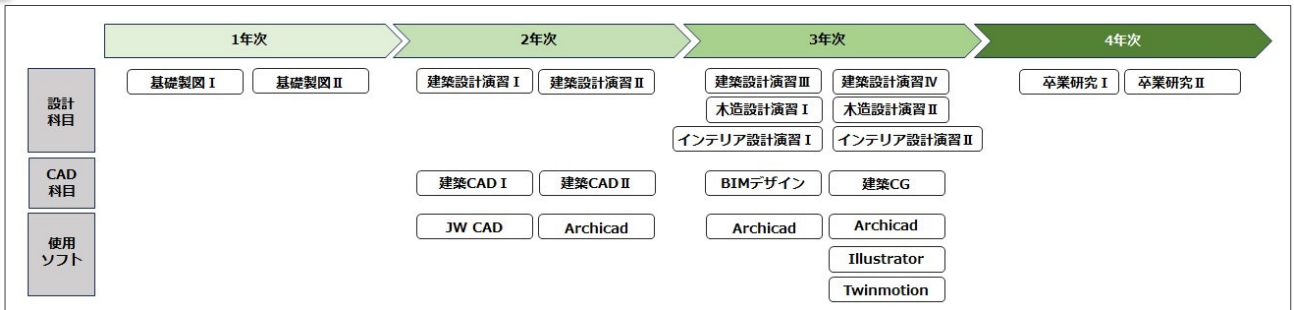
BIMで創る建築の未来

建築づくりの現場は大きく変わろうとしている。コンピューター上に、ホンモノそっくりの建築模型をデジタルデータで作り上げることができるようになった。建築デザインの検討から、設計の取りまとめ、施工、メンテナンスまでをBIMが担ってゆく時代になりつつある。



出典：BIMナビ

建築設計・CAD カリキュラム



カリキュラムマップ

1年次

前期は、手描きによる作図を通じて、製図の基礎と建築表現の技法を学ぶ。後期は、小規模建築の計画を題材に、空間の立体的な理解と表現力を養う。

2年次

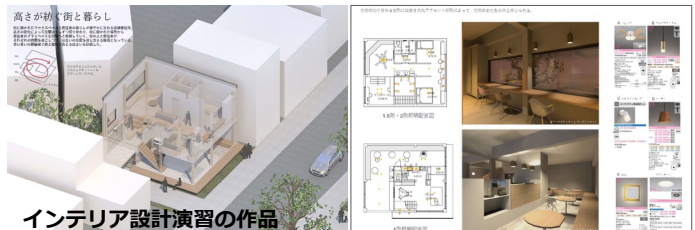
前期は、2次元CADを用いた建築図面の作成方法を学び、図面の精度と表現力を高める。後期は、BIMの基本操作を習得し、3次元モデリングを行う。

3年次

前期は、モデリングにとどまらず、図面のとりまとめやプレゼン手法も実践する。後期は、CAD、BIM、CGソフト、レイアウトソフトを用いて、CGや動画の制作とレイアウトを行い、プレゼンテーションに求められる高度な技術の修得を目指す。

4年次

研究課題・テーマを設定し、諸科目で得た知識やプレゼンテーション技術を踏まえ、卒業設計として成果をパネルや模型にまとめて発表する。



VRゴーグルで仮想空間を体感

VRゴーグルを装着することで、自分がデザインした建物を自由に動き回ることできる。BIMによる設計を学び、表現力と実践力を高めていく。

